



55年ぶりの箱根駅伝出場。多くの人々が期待し、待ち望んでいたその時がとうとうやってきました。応援場所の京急戸部駅付近とJR保土ヶ谷駅付近にはたくさんの方が集まり盛り上がりました。2024年の創立150周年に向けた記念事業の一つとして取り組まれた駅伝ですが、歴史ある多くの大学が150周年を迎える中、立教大学はこれまでの歴史と伝統をもとに新たな未来をつくろうとしています。私たち地域立教会としての役割もこの機会に考えていきたいものです。

### 私の趣味

室町時代より600年以上の歴史を持つ能は狂言と並んで日本を代表する古典芸能で、面と美しい装束で上演される幽玄の世界は人を魅了してやみません。一方、能は高尚で近づきにくいというイメージもついて回るのではないのでしょうか。今回は長年能の楽器を趣味としてきた桜田さんに「能とわたし」について語っていただきました



桜田 敦子 1980年（昭和55年） 文学部独文科卒

○「能をたしなむ人は少ないという印象を持ちますが、まずはどういうきっかけだったのでしょうか」

—もともとクラシック好きで音楽には興味があったのですが、横浜市の広報で「体験10回目である横浜能楽堂で発表会」という記事を見て、何でも興味を持つ私は、能舞台に立てるのならばと応募しました。幸い抽選に当たり、第2希望の小鼓（こつづみ）をやることになったのです。練習の末、念願の能楽堂でつたない演奏を披露でき、久々のスポットライトにやや興奮したのを今でも覚えています。

○「それからずっと小鼓をやってきたのですか」

—それがこの先も習い続けようと思っていた矢先に3.11の東日本大地震が発生し、お稽古もしばらくなくなってしまいました。でも熱しやすく冷めやすい私としては、まだ燃えているうちに何かやりたいと思っていました。せつかくなら違う楽器を体験したいと頭に浮かんだのが能管（のうかん、笛）でした。篠笛と似た、能で使われる横笛です。吹けるようになるまでには練習がかかせませんでした。

に何かやりたいと思っていました。せつかくなら違う楽器を体験したいと頭に浮かんだのが能管（のうかん、笛）でした。篠笛と似た、能で使われる横笛です。吹けるようになるまでには練習がかかせませんでした。

○「小鼓と笛がでてきましたが、ここで能の楽器について教えてください」

—能の音楽には、歌と演奏を担当する謡（うたい）と囃（はやし）があります。囃方（はやしかた）は、シテ（主役で舞、謡を担当）や地謡（合唱）の演奏部分で囃したり、時に対等に対峙します。楽器は4種類で、笛（能管）、小鼓、大鼓（おおつづみ）、太鼓です。楽器は代々家の芸となって受け継がれ、一人一役、他の楽器は演奏しません。

○「楽器の演奏は大変難しいと聞いていますが、普段の練習はどうしているのですか」

—ピアノ等と同じで先生のご指導を受けて、自宅等で練習します。習っている方は女性が多いですが、子どもや会社員の男性等も楽しんでます。





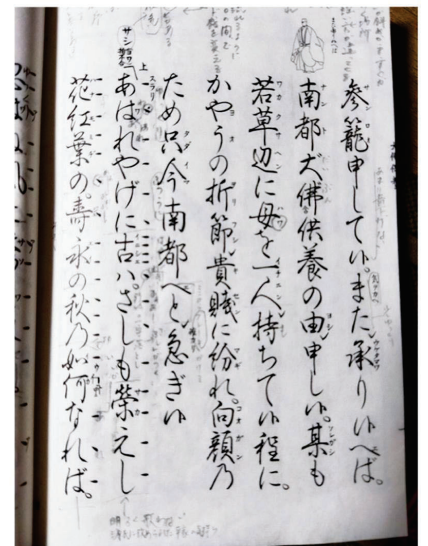
○「ところで謡(うたい)もやっているのですか」  
 ー最近始めました。謡は能の軸であり難しいものですが、私は単純に「すじ」や人の心情が良くわかり、おもしろいなと思ったのでやり始めました。

○「桜田さんがハマってしまった能の魅力とは何でしょうか」  
 ー本番の能舞台で演奏し、緊張しながらも他の演奏者と気持ちが合った時は何とも言えません。プロの演奏者が合わせてくださる時も多いのでそれもまた楽しみの一つです。演奏にはいろいろな決まりがあるのですが、その中で自分の気持ちを表現し、感情移入できるのも魅力です。こうして知らず知らずのうちに邦楽にはまっていき、今は三味線にも興味を持ちだしています。能は古典から題材をとったものが多いので、古典文学にも関心がいきます。

○「これから発表会の予定はありますか」  
 ー今年の1月に笛や小鼓の発表会があり、緊張感の中で演奏する高揚感を味わいました。今後の発表会は未定ですが、次を楽しみにしております。

○「これから能の鑑賞やお稽古を始めたい人へのアドバイスをお願いします」

ー能楽協会や能楽堂のホームページで鑑賞の仕方や講座などを紹介していますので、一度ご覧ください。NHKのEテレでもいろいろやっていて面白いです。横浜能楽堂は能や狂言などの定期公演を行っていますが、素人の会などは無料で見学できることもあります。能楽堂へ通ううちに能の魅力にハマっていきますよ。日々の生活に追われている方には心の休息にもなるでしょう。『命には終わりがあり、能には果てあるべからず。』  
 (世阿弥)



# 新会員の紹介

(3月までの入会者です)

- 藤原 みどり 1980年(昭和55年) 経済学部経済学科卒
- 小早川 昭子 1987年(昭和62年) 文学部英米文学科卒
- 小野 貴子 1993年(平成5年) 法学部法学科卒
- 東 佐和子 2009年(平成21年) 文学部心理学科卒

岡崎 厚 1962年(昭和37年) 社会学部社会学科卒(産業関係コース)



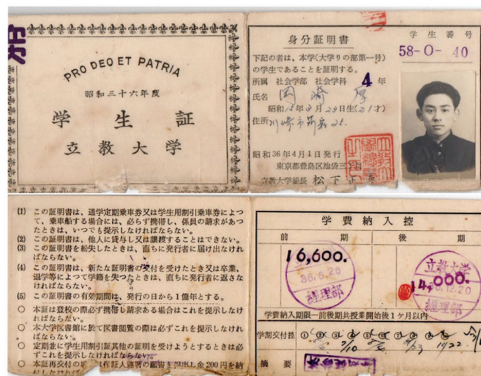
美ヶ原スノートレッキング

○鶴見区(東台小学校、寺尾中学校、鶴見高校)出身、保土ヶ谷区月見台に55年間在住。

○社会学部が学部になった年に入学。池袋駅から学校までの路には薄暗いマーケット通りが残っていました。野球部が強く六大学野球で入学時から4シーズン連続優勝(長島さん時代から通算7連覇)。昼休みには応援団員が正門で1年生を強制的にタッカーホールに誘導し、応援練習をさせられました。神宮球場へ良く応援に行きました。3~4年は武澤ゼミで、先生は後に学部長になりましたが、当時は35歳の新進気鋭の教授。授業は厳しかったが暖かく包容力のある方で、お宅にもおじゃまし個人的な相談にも乗って頂きました。先生との出会いが学生時代の一番の宝で、ゼミ同期会や1年C組のクラス会もコロナ禍前までは良く開催していました。

○2004年に64歳で42年間のサラリーマン生活卒業後は、高校時代から始めた山歩きを再開し、立教山岳部出身の方の紹介で「立教鹿島槍倶楽部」に入会し、大町市にある山荘を拠点に後立山連峰の山を歩き回りました。80歳を超え足腰が弱くなりましたので、最近はお世代の山仲間と低山から高嶺を眺めています。

○六大学野球応援や箱根駅伝応援には参加させて頂きたいし、横浜在住の同窓生との語らいに参加したいと思っています。年寄りの新人ですが、よろしくお願いします。



懐かしい学生証



かっこいいですね〜何年前?

寺坂要一 1981年(昭和56年) 経済学部経済学科卒

○父が立教、叔父が立教、叔母が立教でしたから、当然のように私も立教へ。高校の先輩から誘われて、ボランティア活動するキリ団に入りましたが、心に描いていたキャンパスライフと違うなあ…と途中下車。廣田ゼミに通いながら、広告学も学び、宣伝会議コピーライター養成講座へも。当時、コピーライターと言えば、沢田研二の「TOKIO」を作詞した糸井重里さんが注目され、1行100万円の仕事と言われていました。そんな『おいしい生活』(糸井重里さんによる西武百貨店のキャッチコピー)をめざしたわけです。卒業後、コピーライター職に就くと、せいぜい100行1万円で、夢物語は無くなりましたが、昨年末までの長〜い広告会社生活の基礎になりました。在学当時の立教は、六大学野球で毎シーズン、東大と最下位争い。神宮ではため息ばかりでした。しかし、近年は、甲子園球児が続々入学して、本当に強くなりました。今でもたまに神宮詣しています。そして、ついに!なんと!今年のお正月は、箱根駅伝を「サッポロ黒ラベル」片手に応援できました。母校愛復活です。

○昨年末をもって、ADKの定年再雇用を満了。今年から、下手の横好きゴルフに興じたり、愛らしい孫娘二人と遊んだり、のセカンドライフに突入しています。

○ゴルフ(もっぱら厚木の「清川CC」)、甘辛、海外旅行(渡航30回程)。

どうぞよろしくお願いいたします。

## 新会員の紹介

畑田 有紀子 1987年(昭和62年) 社会学部社会学科卒



○演習は、奥田ゼミ(2年)、早坂ゼミ(3年)、本間ゼミ(4年)と渡り歩いていました。大学が遠方で地元でのバイト(家庭教師)が忙しく、サークル活動にはほとんど参加できませんでした。

○一人娘(立教英国学院卒)が社会人になって家を出ましたので、夫婦二人、横浜で暮らしております。国家資格キャリアコンサルタントの資格を取得し、採用や人材育成に関わる仕事をしています。

○孫はおりませんが、代わりにうさぎ(ネザーランドドワーフ・メス)を一羽飼って毎日癒されております。クラシック音楽聴いたり、ワインを飲むのも好きです。日本酒も純米酒限定で飲みます。横浜山手聖公会信徒です。結婚式は(香蘭出身ではありませんが)三光教会でした。

○少し時間に余裕が出てきましたので、母校の皆さんと交流を持ちたいと思い入会したのですが、この1ヶ月でバタバタとまた忙しくなってきてしまいました。当面は思うようにお集まりに参加できないかもしれませんが、出来る限り調整して皆さんにお会いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



うさぎ(ネザーランドドワーフ・メス)の花ちゃん

池田 麗子 1987年(昭和62年) 文学部英米文学科卒

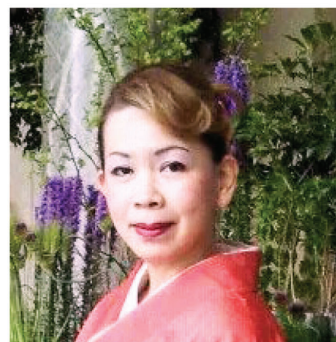


○体育会応援団吹奏楽部に所属(楽器はクラリネット)。神宮球場での野球応援のほか、六大学応援団連盟の活動など、応援団カラーの濃い充実した4年間でした。

○日立製作所に文系女子総合職一期生として入社し、この4月で勤続36年になります。現在はICT関連広報部に在籍しています。得意の英語を活かしコロナ前は海外出張(主にシリコンバレー)も多く、プライベートでは大好きなヨーロッパ諸国を旅してきました。JR東戸塚駅前のタワーマンション在住です。主人も立教卒で社会人の息子が一人おります。

○ピアノとクラシックバレエを習っており、昨年も発表会で舞台上に立ちました。ワインが大好きで、ワイン会仲間と米国や国内ワイナリー巡りをしてきました。健康のために筋トレとウォーキングを続け、東戸塚から保土ヶ谷、戸塚、上永谷、横浜まで日頃歩いています。

○昨夏の神奈川立教会総会や新年の箱根駅伝応援で一緒にさせて頂きましたが、これからも横浜立教会の行事に参加し、皆様と校友の輪を広げて行きたいと思っております。どうかファーストネームの「麗子さん」と呼んでください。どうぞよろしく。



前田 由美子 1993年(平成5年) 法学部法学科卒



○立教で過ごした4年間は、友達に支えられ「自立」した大切な期間となりました。長野出身の私は、立教大学でいわゆる「デビュー」。入学式の日、憧れの大学も先輩たちも池袋の町も、全てがキラキラして見えました。初めての一人暮らしがなんとか楽しく過ごせたのも、学部やサークルの友達のおかげでした。終電を逃した友達の常宿(笑)として夜も寂しくなかったし、ドラマ見ながらの長電話にいつも誰かが付き合ってくれたし、私が学食にいないと部屋で死んでないかと見にきてくれたし、偏食を心配した友達がお母さん手作りのお弁当を差し入れてくれたし。学生らしい思い出がいっぱいです。

○大学卒業後は富士通(株)に勤務しました。携帯電話が普及した時代の新人でしたので、猛烈に忙しく、やりがいのある充実した日々でした。第1子出産を機に退職し、10年間は子育てに専念しました。その後行政書士資格を取得し2013年に開業、現在は中小企業様の経営支援を主に行っています。横浜市居住25年です。

○趣味はお菓子・パン作りです。

○素敵な先輩・後輩の方々と出会え、立教っていいな〜と改めて感じました。今後ともよろしくお願いいたします!

応援団の箱根駅伝二日間  
55年ぶりの箱根駅伝応援

立教大学体育会応援団 監督 星 淳一  
横浜立教会副幹事長 1987年(昭和62年)経済学部経営学科卒

55年ぶりの箱根駅伝応援ということで、応援団員はもちろんのこと、監督・コーチにとってもはじめての経験となりました。朝早く大手町に集合、応援の準備に取り掛かり応援がスタートしました。理事長・総長・校友会長を始め多くの校友の皆さんが参加され、オール立教を力強く感じた一瞬となりました。スタート直後の選手を応援団の力強い応援で鼓舞した後、バスに乗り込み箱根芦ノ湖に向かいました。公園の奥まった場所での応援となりましたが、団旗や幟を選手から見える場所に配置して、山登りの選手をゴール直前で出迎えました。翌朝も同じ場所から、氷点下での応援となりましたが、立教大学職員の方のご協力、総長からの励ましのお言葉をいただき、選手と一体になった応援を繰り広げました。

復路の最後は大手町プレイス前の応援となりました。大勢の卒業生に集まっていただき、立教生の心が一体となった応援を選手に伝える事ができました。何よりも嬉しかったのは襷が繋がったことです。今回の経験を基に、来年は更に高順位を目指せるよう応援団も精進してまいります。校友の皆様のご声援をよろしくお願い致します。



## 私たちが応援しました



令和5年の幕開けは、我が立教大学の55年ぶりの箱根路から始まりました。横浜立教会会員を中心に、京急戸部駅付近と保土ヶ谷駅付近の国道一号線で、たくさんの方がランナーを応援しました。あっという間に選手たちは過ぎていきましたが、余韻を胸に「北浜」でテレビ応援を続けました。



## クリスマス会報告



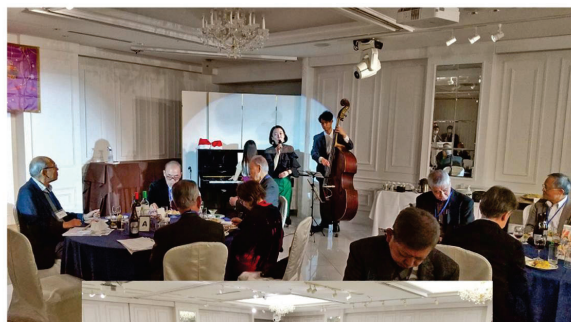
中止が続いておりました、恒例の横浜立教会クリスマス会が3年ぶりに開催されました。2022年12月13日横浜駅西口ホテルプラムに40名の仲間が集まり3年のギャップを埋めてました。キリスト教学科卒のジャズボーカリスト横山未希さんのクリスマスソングが雰囲気を盛り上げました。

中止が続いておりました、恒例の横浜立教会クリスマス会が3年ぶりに開催されました。

2022年12月13日横浜駅西口ホテルプラムに40名の仲間が集まり3年の

ギャップを埋めてました。

キリスト教学科卒のジャズボーカリスト横山未希さんのクリスマスソングが雰囲気を盛り上げました。



## 全体会??!!の報告



集合し、懇親を深めました。今後の会について意見交換もありました。

星さん、島崎さん、孫さんたちの声掛けで、3月11日横浜駅西口ジョイナスの「北浜」に横浜立教会の有志及び新会員の方々含め20余名が



## メーリングリストに登録を!!

同好会活動を希望する会員が増えていることから、情報を適切に提供するためメーリングリストを使った一斉配信を開始します。コロナ禍のなか、多くの活動が休止していましたが、順次再開しています。登録された方には同好会活動や折々の取り組みをパソコンやスマホに速やかにお知らせします。

希望される会員は、下記のURL、スマホからはQRコードで登録をしてください。手続きは簡単です。画面からメールアドレス、氏名、電話番号を登録してください。

URL:<https://rikkyo.yokohama/ml-appli>

※一部規格外でQRコードから画面が出ない場合があります。その場合は、お手数ですが上記URLより登録をお願いいたします。



## 編集後記

小田原立教会では駅伝の出場が決まってから卒業生に呼びかけたところ、会員の数が一挙に倍増したとのことです。これを聞いて駅伝効果がいかに大きかったか改めて驚きました。当会でもこの間会員が増えています。会員の要望に応えるために活動を多様化し充実していくことがこれからの大きな課題となります。皆様のご協力をお願いします。